



高岡の文化創造のあり方検討ワーキングの設置について

1 目的

本市は、加賀前田藩の経済を支える商工業都市として発展し、その営みのなかで、今日に至る豊かな歴史文化をさらに遡れば、大伴家持と越中万葉に代表される日本有数の万葉故地としての文化的風土も脈々と引き継がれてきた。

長い歴史の中で人々は、芸術・文化に親しみ、生活の中に取り入れながら、生活文化「まち衆文化」が生まれ今日に至っている。

芸術文化を尊重する生活スタイルは市民に浸透し、高岡市民の「気質」を形成してきた。このような市民のエネルギーを再認識し、活用することで、高岡から新たに芸術文化の革新の可能性を追求するとともに、文化創造を通じた地域活性化のあり方を探る。

2 検討内容

- (1) 文化創造によるまちづくりの推進
- (2) 文化・教育施設のあり方

3 検討体制

- (1) 庁内各行政分野の若手職員によるワーキンググループによる検討（1年程度）

ワーキンググループでは、専門研究家の幅広い観点でのアドバイス等を受け、新たな文化創造に対する期待やその役割について課題や論点を整理する。

4 文化創造都市実現に向けて

ワーキングで検討された課題や様々な可能性について、より掘り下げた専門的検討を行うため、平成 23 年度中に市民や有識者による検討会議を設置する。新たな文化創造都市の実現に向けた提言を取りまとめる。